



第13回演奏会関連

ホール側との情報の行き違いにより、前号でお伝えした日程が変更になりました。

1. 日程

3月25日(日)ティアラこうとう 昼公演です

2. 指揮者

指揮者探しは継続中です。

指揮者の方を御紹介下さい > 事務局まで

ライブラー2号募集中!

当方、職務遂行のための時間が、思うように取れなくなってきておりますので、ライブラー2号(実働部隊)を募集します。

職務内容:

楽譜コピー

楽譜発送

楽譜保管・管理(option)

楽譜調達(option)

当分は、楽譜調達・保管・管理は私が行います。

報酬:

プログラムの役員欄に名前を掲載。

我こそと思う方は、半澤まで。Mail YR102255@nifty.ne.jp

Tel. 048-441-5307

第13回演奏会の選曲

選曲スケジュールについて

7/23 12:30 ~

候補曲の確認、曲についての賛否意見

できれば焦点となる曲(プログラム案)のピックアップ

この日参加できないパートも多いので、この時点で候補曲を落とす作業はしないつもりです。

8/6 12時頃? ~

プログラム決定

(決定できなければ、3案くらいにしぼる所まで)

7/20時点での候補

プログラム案として、次のものが挙がっています。

賛否のご意見をお寄せください。編成、スコア持ち情報も教えていただけるとありがたいです。(オルガン付、ブラ3、ブルックナー7、Vウィリアムズ5は手元にスコアがあります)

1. サンサーンス Sym3オルガン付

R・シュトラウス ツァラ

2. イベール・寄港地、ラヴェル ラヴァルス

サンサーンス オルガン付

3. チャイコフスキー ロメジュリ、白鳥の湖抜粋

Sym6 悲愴

4. グリーグ ペール・ギュントから 抜粋

ニールセン 交響曲第3番

シベリウス 交響曲第2番

5. イベール パッカナール

ラヴェル ボレロ

ビゼー カルメンから 抜粋

ラヴェル ラ・ヴァルス

6. エルガー 威風堂々第1番

ブリテン 青少年のための管弦楽入門

ヴォーン=ウィリアムズ 交響曲第5番

7. ブリテン 青少年のための管弦楽入門

ホルスト 惑星

エルガー 威風堂々の1番以外のどれか(アンコール)

8. アルベニス(アルボス編)イベリア組曲(25分程度)

ファリャ 三角帽子全曲(40分程度)

ビゼー カルメンから1or2曲程度(アンコール)

9. プラームス: Sym3

ラヴェル: 古風なメヌエット

亡きバヴァ(これはなくてもいいかも?)

ラヴァルス

ほかに単品であがっている曲は次のとおりです。

(単にコメントとして書かれたものもとらずあえず含んでいます)

交響曲

シベリウス Sym5

ブルックナーSym7

マーラー Sym5、Sym7

協奏曲ほか

チェロ協(懸田さんと?)

Rシュトラウス Hr協2番、Ob協

ニールセン「アラジン」

(練習企画: Hr 藤原)

7月9日懇親会盛況御礼

去る7月9日の練習後に、同日の合奏・弦練を御指導いただいた小池先生、管練を御指導いただいた大貫先生を交えた懇親会が開催されました。特に弦楽器の皆さんに多数の御参加をいただき、企画一同、喜んでおります。ありがとうございました。P.S.今度は管楽器の皆さんも多数参加できるように企画します。

参加費確定！（重要）

参加費の額が決まりました。

いつもよりも高くなってしまって申し訳ないですが、今回は35,000円とさせていただきます。

締切り 7月28日（金）

支払い方法 1) 7月9日・23日の練習時に直接金井まで
2) 振込み

* さくら銀行 麹町支店
普通 7196197
オーケストラディマンシュ

参加費全額 ￥35,000 -
(学割：1万円引きの￥25,000 -)

予算の詳細は下記を参照するとして、値上がりの原因は、

- 1) JW の楽譜購入
- 2) 夜公演によるホール代の増加(昼・夜借りるから高いんです...)
- 3) 特殊楽器の借用

が考えられ、いつもよりも+30万円多くかかっています。

予算案		
練習	練習場	¥118,000 -
	楽譜	¥180,000 -
楽器借用		¥737,000 -
通信費・コピー		¥75,000 -
広報		¥35,000 -
謝礼	指揮者・トレーナー等	¥640,000 -
	エキストラ X 15名	¥75,000 -
本番	ホール代等	¥320,000 -
	チケットぴあ	¥35,000 -
	プログラム	¥40,000 -
	その他	¥15,000 -
会議・著作権他		¥73,000 -
	合計	¥2,343,000 -

参加予定人数 69名 うち学生(1万円引き)4名とすると
(¥2,343,000+¥40,000) ÷ 69名 = ¥34,536.231...
¥35,000 -

という計算です。

(会計：FI金井)

おかげさまでVc 9人！

おかげ様でチェロメンバーが9人！になりました。
おめでとうございます！（笑）

ということで、Vc 募集は一応打ちきりとさせていただきます。
(ああ、なんて良い響き)

尚、「参加費を払っても是非是非のりたいたい！」という方がいらっ
しゃいましたら、もちろんどんどん参加OK ですので、お知らせ
下さい。

以下メンバー紹介します。

< 団員として参加 >

横沢さん(首席を引き受けていただきました)

長尾さん

吉田 竜生 上智オケ0B

草野 秀剛 上智オケ0B

塚田 愛子 上智オケ0G

仁科 亜紀乃 上智オケ0G

< エキストラとして参加 >

波内 みさ アンサンブルオレイコ

佐久間 尚子 長尾さんの高校友人

金 家正 長尾さんの高校友人

Special ありがとう To:

篠崎さん@VA

長尾さん@VC

水留さん@FG

(人事：Cb 吉田)

金山氏大活躍

当団常任指揮者の金山 隆夫氏の今月から秋にかけての演奏
会情報です。

7/9、23 Summer Music Institutes

音大生などをあつめた、PMF のような教育プログラム。

7/22 ナショナル大聖堂特別演奏会

ドビュッシー：牧神／プーランク：オルガン協

7/27 カーターバロン野外音楽堂

ルラン／プロコフィエフ：P協3番／チャイ5、など

9/3 「労働者の日」特別演奏会

アメリカも中心のプログラム。

アンコールにスター・ウォーズのテーマ(!)

11/2～4 NSO定期

リース：コンステレーションズ

サン＝サーンス：P協2番

チャイ5

「音楽の友」にも昨年12月のメサイアが好評でしたが、今年
も活躍しているようです。ワシントンへ赴く機会のある方がい
たら、是非、レポートして欲しいものです。

なお、金山氏は8月6日に帰国しますが、12日夜の横浜み
なとみらいでの、全日本医科学生オーケストラフェスティヴァ
ルの指揮をされるため、ディマンシュへの登場は13日が最初
となります。

(広報)

こんなところで！？

木曜に神宮でヤクルト巨人戦を見てきたのですが、ヤクル
ト選手がバッターボックスに入る際のテーマ音楽(!?)に Imperial
Marchが使われていました。あれは確か高橋智だったか...。
他は最近流行りの邦楽を使っている中、一際目立ってました
(ただし私にだけ)。それにしても楨原が負傷退場してヒンシュ
クを買ったその前の日の試合でなくて本当に良かった。

(by FI)

『新世界より』練習番号表

すでに各パートで連絡されていると思いますが、練習番号の間隔が空いているため、効果的な練習のために、練習番号を振ってください（指揮者からの指示です）。

その際、ドヴォルジャークは、スコアにより、第一楽章の繰り返し部分を数えるものと数えないものがあり、小節番号が異なります。

今回は、ブラ八版（日本版はジェスク音楽文化振興会刊行）によります。

1 楽章

練習番号	小節	備考（目印代わりに）
	24	主部：Allegro molto
1	59	
2	77	
3	91	
4	121	
5	149	
6	181	2 カッコちょうど、展開部
7	213	
8	245	
9	277	再現部
10	308	
11	342	ダブルバー
12	374	
13	400	ダブルバー
最後の小節	452	

2 楽章

練習番号	小節	備考
1	21	
2	46	Un poco piu mosso
3	64	Poco piu mosso
4	90	
5	101	ダブルバー、Meno mosso, Tempo I.
	120	コーラル、in tempo
最後の小節	127	

3 楽章

練習番号	小節	備考
1	49	
	68	Poco sostenuto
2	99	in tempo [Tempo I.]
3	123	ダブルバー
4	154	
5	193	リピート記号
6	240	リピート記号
	249	コーダ
7	271	
最後の小節	300	

4 楽章

練習番号	小節	備考
1	34	
2	44	
3	69	
4	92	
5	122	
6	144	
7	168	
8	190	
9	214	Poco meno mosso
10	251	Un poco sostenuto
11	275	Tempo I
12	299	
	327	Meno mosso e maestoso
最後の小節	348	

（制作：Fg 水留、補筆：広報）

速報！

ブラ八版と従来版との主な違いについては、トレーナー大貫先生の御尽力をいただき、次号に一挙掲載いたします。

連載：FILM CLASSICS MANIACS

今回、プログラム後半はJ.ウィリアムズの映画音楽作品の特集になります。映画音楽と云うと何やら俗っぽいものに思う方も多いと思いますが、現代における多種多様な音楽の一ジャンルとしては、最もクラシック音楽と関係の深いものであるといえましょう。何より、所謂「クラシックの作曲家」として知られる作曲家達も多くの映画音楽作品を残しています。また、映画音楽作曲家として知られる作曲家には演奏会用の作品ももちろんあるのです（ウィリアムスにも協奏曲などがあります）。

この連載では、今回とりあげるウィリアムス作品の情報から、映画音楽の歴史まで、可能な限りの広い話題を探っていきます。

まず、初回は、今回とりあげるウィリアムス作品についての背景から御紹介しましょう。

< E.T. >

1982年作品 監督：スティーブン・スピルバーグ

アカデミー賞4部門受賞（作曲賞含む）5部門ノミネート
宇宙生命体と少年達の心の交流を描いた心暖まるファンタジーの名作。

「地上の冒険」は、映画後半の、少年達がE.T.を科学者たちからかばって逃げるシーンの音楽を演奏会用に編曲したもの。映画では約15分にわたるものだが、演奏会での演奏効果や単独の楽曲としての構成などから、約2/3に短縮されている。特に、映画本編の最も感動するシーンのひとつである、少年達を乗せた自転車が空中に飛び上がるシーンでフライング・テーマが鳴り響く箇所はカットされており（すぐに別れのシーンのE.T.のソロへ繋がっている）曲全体のクライマックス設計がより明確になっている。他のウィリアムス作品と同様、各モチーフは登場人物や場面の意味と密接に関わっており、非常に楽劇的手法が用いられている。この「地上の冒険」のシーンはそれが最も顕著に表れているといえよう。作曲家本人も非常に気に入っている作品のようで、プログラムに含まれていなくとも必ずアンコールで演奏するらしい。

（次頁へ続く）

